

2024年

3月号

大野城市  
北コミ

# そら 宙まどか通信

vol.84

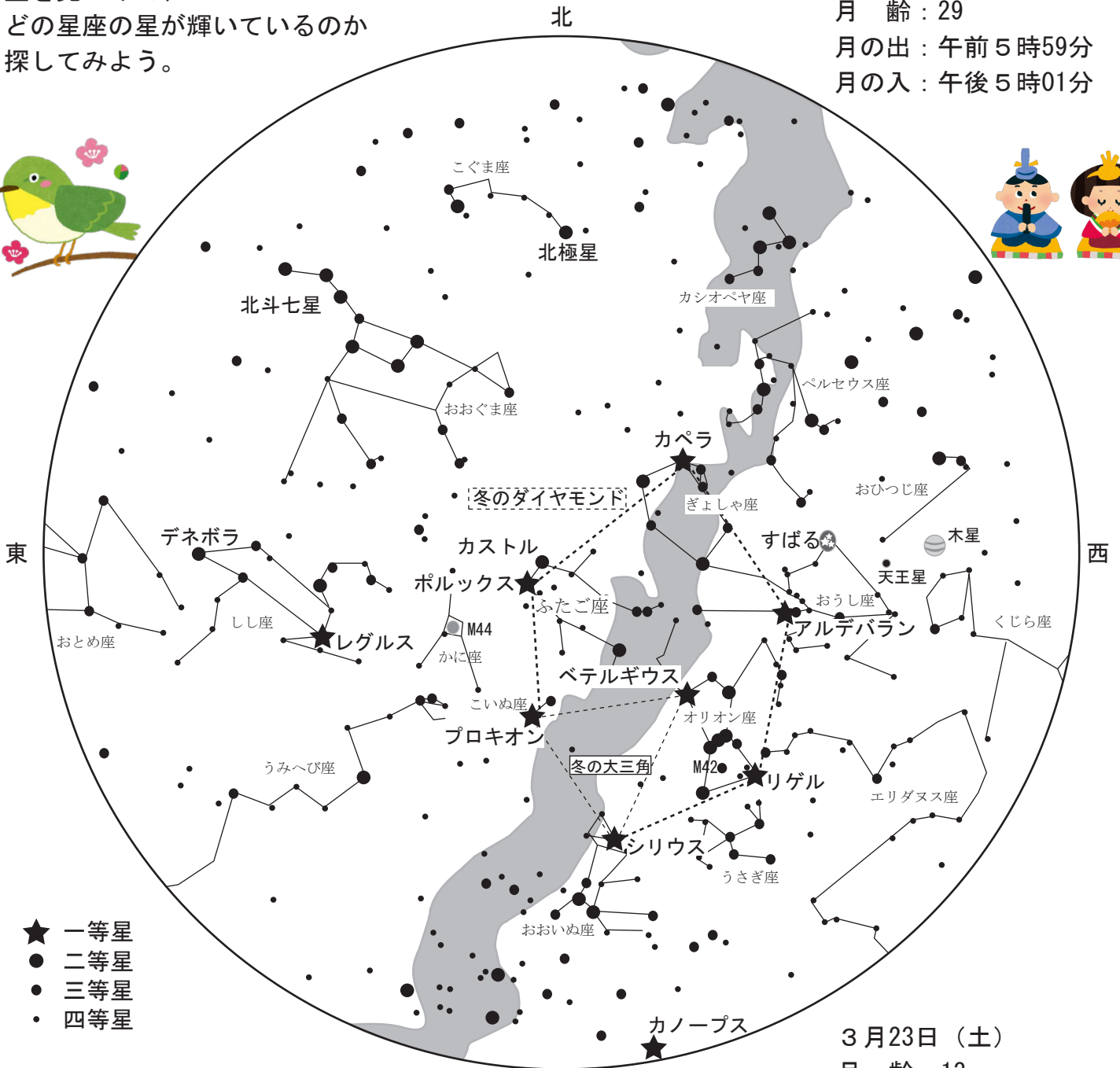
空を見上げて、  
どの星座の星が輝いているのか  
探してみよう。

3月9日(土)

月 齢 : 29

月の出 : 午前5時59分

月の入 : 午後5時01分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星

3月  
1日 午後9時の星図  
15日 午後8時の星図



3月23日(土)

月 齢 : 13

月の出 : 午後4時45分

月の入 : 午前5時24分

## 大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

休館日 : 毎月第3火曜日 (休館日が祝日の場合はその翌日)  
年末年始 (12月28日から翌年1月4日まで)

TEL: 092-513-0099

FAX: 092-504-5102

開館時間 : 午前9時~午後9時

# 今月のイベント

3月9日(土)  
午後7時～午後8時50分

## 「星の集まりを見よう」

たくさんの星たちが集まった「星団」と呼ばれる天体たちを中心に観測します。



3月23日(土)  
午後7時～午後8時50分

## 「冬の星と春の星」

西の空には冬の星、東の空には春の星があり、どちらの季節の星も楽しめます。



北コミHP

スタードームまどか  
Facebook

スタードームまどか  
X (旧Twitter)



# 3月天文カレンダー

- 1日(金) 土星が合  
ポン・ブルックス彗星が6等(予測)
- 3日(日) 小惑星ジュノーが衝
- 4日(月) 下弦の月 ●
- 5日(火) 啓蟄(太陽黄経345°)
- 10日(日) 月の距離が近い(35万6895km)  
新月 ●
- 11日(月) 細い月と水星が接近(夕方)
- 14日(木) 細い月と木星が並ぶ(夕方～宵)
- 15日(金) 月とプレアデス星団(すばる)が並ぶ(夕方～宵)
- 17日(日) 上弦の月 ●  
月面Xが見える(23時頃)
- 18日(月) 海王星が合
- 20日(水) 春分(太陽黄経0°)
- 24日(日) 月の距離が遠い(40万6294km)
- 25日(月) 水星が東方最大離角  
満月 ○(ワームムーン)

## ～7千天文情報～

### 「2024年の天文現象！」

今年(ねん)の12月(てんもんげんしやう)までに起こる様々な天文現象(なかに)の中からオススメをお伝え(つた)します。  
流星群(りやうせいぐん)や日食(にっしよく)・月食(げっしよく)ではなく、彗星(すいせい)が主役(しゆやく)になるかもしれない注目(ちゆうもく)の1年(ねん)です。



3月中旬(がつちゆうじゆん)～  
4月下旬(がつげじゆんごろ)頃  
：ポン・ブルックス彗星(すいせい)が5等前後(とうぜんご)の明るさ(あか)になる(よそく)。  
目で見る(め)のは難しい(み)ですが、望遠鏡(ぼうえんきやう)や双眼鏡(そうがんきやう)なら見える(み)かもしれません。  
日の入(ひいり)後の西(にし)の低空(ていくう)を探(さが)してみよう(きた)。近日点通過(きんじつてんつうか)は4月21日頃(がつにちごろ)です。

4月6日(がつ6日) (土)：夜明け前(よあけまえ)の東(ひがし)の空(そら)に月(つき)、火星(かせい)、土星(どせい)が集合(しゆうごう)します。  
4月9日(がつ9日) (火)：皆既日食(がいじつしよく)が起こる(おこ)る(北アメリカ大陸(きたあめりかたいりく)で見える(み)。ライブ中継(らいうべいちゆうけい)がある(あ)かも)。

5月6日(がつ6日) (月)：午前6時頃(ごぜん6じごろ)にみずがめ座(みづがめざ)η流星群(えりやうせいぐん)が極大(きよくだい)。(つき)がない(な)ので観測(くわんそく)しやすい(し)。  
7月25日(がつ25日) (木)：西(にし)の空(そら)で月(つき)が土星(どせい)を隠(かく)す「土星食(どせいしよく)」が起こる(おこ)る(午前6時20分(ごぜん6じ20ぶん)～午前7時20分(ごぜん7じ20ぶん))。

8月12日(がつ12日) (月)：午後11時頃(ごご11じごろ)ペルセウス座(ぺるせうすざ)流星群(りやうせいぐん)が極大(きよくだい)。(よなか)の夜中(よなか)は月(つき)がない(な)ので観測(くわんそく)しやすい(し)。  
月の入(つきいり)りは12日(にち)の午後10時57分(ごご10じ57ぶん)、日の出(ひいで)は13日(にち)の午前5時38分(ごぜん5じ38ぶん)です。

9月下旬(がつげじゆん)～  
10月上旬(がつじやうじゆん)頃  
：紫金山(しきんざん)アトラス(あとらす)彗星(すいせい)が肉眼(にくがん)彗星(すいせい)になる(よそく)。  
2024年(ねん)で最大(さいだい)の天文現象(てんもんげんしやう)。9月中(がつちゆう)は夜明け前(よあけまえ)の東(ひがし)の空(そら)、10月以降(がついこう)は日没後(にちぼつご)の西(にし)の空(そら)に尾(お)を引(ひ)く彗星(すいせい)の姿(すがた)が見上(みあ)げるだけ(ただ)で分かる(わ)かもしれません。  
近日点通過(きんじつてんつうか)は9月28日頃(がつにちごろ)です。

9月17日(がつ17日) (火)：中秋の名月(ちゆうしゆうめいげつ) (十五夜(じゆうごや))の日(ひ)です。(つき)を見上(みあ)げよう。  
10月3日(がつ3日) (木)：金環日食(きんかんにっしよく)が起こる(おこ)る(南アメリカ大陸(なんあめりかたいりく)で見える(み)。ライブ中継(らいうべいちゆうけい)がある(あ)かも)。

12月8日(がつ8日) (日)：南(みなみ)の空(そら)で月(つき)が土星(どせい)を隠(かく)す「土星食(どせいしよく)」が起こる(おこ)る(福岡(ふくおか)ではギリギリ隠(かく)れない)。  
望遠鏡(ぼうえんきやう)や双眼鏡(そうがんきやう)を持(も)っている人(ひと)は、月(つき)の近(ちか)くを通過(つうか)する土星(どせい)を見(み)てみよう。

12月14日(がつ14日) (土)：午前10時頃(ごぜん10じごろ)ふたご座(ふたござ)流星群(りやうせいぐん)が極大(きよくだい)。(まんげつ)の満月(まんげつ) (15日(にち))が近(ちか)く観測(くわんそく)しにくい(し)。  
少(すこ)しでも月明かり(つきあ)りが少(すく)ない13日(にち)夜(よる)～14日(にち)朝(あさ)の観測(くわんそく)がオススメ(おすすめ)です。